

## 25 壁飾り

輪切り木材に絵を書いたり、松ぼっくり、ドングリなどの自然素材を貼り付けます。作り方によっては、置物にもなります。

木の特性や、松ぼっくり、ドングリなどの自然素材の特性に気付くとともに、自然素材のもつよさを体感することができます。

完成したときには、やり遂げた達成感・充実感を味わうことができます。

作品を仲間と鑑賞し合い、仲間のよさについて新たな発見をすることができます。



時期	通年	所要時間	1時間～	活動場所	室内（体育館、集会室等）
対象	小学生以上	人数	200人まで		
準備物	<b>自然の家で貸し出すもの</b>		<b>団体・個人で準備するもの</b>		
	<input type="checkbox"/> 顔料入りマーカー <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> きり（千枚通し） <input type="checkbox"/> ペンチ <input type="checkbox"/> グルーガン <input type="checkbox"/> 木工用ボンド  <input type="checkbox"/> スプレーニス…事務室	体育館 ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料（きのと物産で購入150円） <輪切り木材、ヒートン、ひも、紙やすり>  <input type="checkbox"/> 自然素材（松ぼっくり、ドングリなど） 自然の家のあかまつ林で集める。 ※ 松ぼっくり、ドングリは自然の家に用意したのものもある。 （松ぼっくり1個10円 ドングリ2個で10円）		
活動の手順	事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体担当者と所員の打ち合わせ</li> <li>活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など</li> <li>※ きりを使う場面は、安全に行われるよう、引率者がつく。</li> <li>ニスを吹きかける作業は、引率者の手で行う。</li> </ul>			
	制作の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1 用具を準備をする。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料、自然素材、顔料入りマーカー、新聞紙、きり、ペンチ、グルーガン、木工用ボンド、スプレーニス</li> </ul> </li> <li><b>2 新聞紙を一人ひとりが用意する。</b>（新聞紙の上で制作作業を行う）</li> <li><b>3 輪切り木材を紙やすりでみがく。</b>（表面が、滑らかになるまで10分程度）</li> <li><b>4 輪切り板にヒートンを取り付ける。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒートンを取り付けるための穴を、きり（千枚通し）で少しあける。</li> <li>・ヒートンをペンチを使って取り付ける。</li> </ul> </li> <li><b>5 輪切り木材に絵や文字をかく。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然素材を用いる場合               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 配置を考えたり、自然素材を加工する。</li> <li>(2) グルーガンで輪切り板に仮止めする。</li> <li>(3) 木工用ボンドで自然素材を輪切り板に貼り付ける。</li> </ol> </li> </ul> </li> <li><b>6 外にベニア板を敷き、完成した作品を置き、ニスをかける。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニスを多くかけると、顔料入りマーカーで書いた絵や文字が溶け出し、にじんでしまう。</li> </ul> </li> <li><b>7 ニスが乾燥したらひもをつける。</b>（10分間程度でニスが乾燥する。）</li> <li><b>8 後片付けをする。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙や紙やすりは捨てる。</li> <li>・活動場所を掃除する。</li> </ul> </li> </ol>			
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 材料は食事申込用紙に必要事項記入し、申し込んでください。</li> <li>2 壁飾りの材料を利用して右の写真のような作品づくりにも挑戦してもよいでしょう。</li> </ol>				

## 26 キーホルダー

**輪切り木材に絵を書いたり、ドングリなどの自然素材を貼り付けます。**

木の特性や、ドングリなどの自然素材の特性に気付くとともに、自然素材のもつよさを体感することができます。

制作に当たっては、まず下絵を考えます。そしてポイントになるドングリの配置を考え、絵や文字を書くとかわいい作品になります。

作品を仲間と鑑賞しあい、仲間のよさについて新たな発見をすることができます。



<b>時期</b>	通 年	<b>所要時間</b>	1時間～1時間30分	<b>活動場所</b>	室内（体育館、集会室等）
<b>対象</b>	小学生以上	<b>人数</b>	200人まで		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出すもの</b>		<b>団体・個人で準備するもの</b>		
	<input type="checkbox"/> 顔料入りマーカー <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> きり（千枚通し） <input type="checkbox"/> ペンチ <input type="checkbox"/> グルーガン <input type="checkbox"/> 木工用ボンド  <input type="checkbox"/> スプレーニス…事務室	体育館 ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料（きのと物産で購入150円） <輪切り木材、ヒートン、金具、紙やすり>  <input type="checkbox"/> 自然素材（松ぼっくり、ドングリなど） 自然の家のあかまつ林で集める。 ※ 松ぼっくり、ドングリは自然の家に用意したものもある。 （松ぼっくり1個10円 ドングリ2個で10円）		
<b>活動の手順</b>	事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体担当者と所員の打ち合わせ 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など</li> <li>※ きりを使う場面は、安全に行われるよう、引率者がつく。</li> <li>ニスを吹きかける作業は、引率者の手で行う。</li> </ul>			
	制作の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1 用具を準備する。</b> ・材料、自然素材、顔料入りマーカー、新聞紙、きり、ペンチ、グルーガン、木工用ボンド、スプレーニス</li> <li><b>2 新聞紙を一人ひとりが用意する。</b>（新聞紙の上で制作作業を行う）</li> <li><b>3 輪切り木材を紙やすりでみがく。</b>（表面が、滑らかになるまで10分程度）</li> <li><b>4 輪切り板にヒートンを取り付ける。</b> ・ヒートンを取り付けるための穴を、きり（千枚通し）で少しあける。 ・ヒートンをペンチを使って取り付ける。</li> <li><b>5 輪切り木材に絵や文字をかく。</b> ・自然素材を用いる場合 （1）配置を考えたり、自然素材を加工する。 （2）グルーガンで輪切り板に仮止めする。 （3）木工用ボンドで自然素材を輪切り板に貼り付ける。</li> <li><b>6 外にベニヤ板を敷き、完成した作品を置き、ニスをかける。</b> ・ニスを多くかけると、顔料入りマーカーで書いた絵や文字が溶け出し、にじんでしまう。</li> <li><b>7 ニスが乾燥したらキーホルダーの金具をつける。</b>（10分間程度でニスが乾燥する。）</li> <li><b>8 後片付けをする。</b> ・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙や紙やすりは捨てる。 ・活動場所を掃除する。</li> </ol>			
<b>備考</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 材料は食事申込用紙に必要事項記入し、申し込んでください。</li> <li>2 キーホルダーの材料を利用して右の写真のような作品づくりにも挑戦してもよいでしょう。</li> </ol>				

## 27 焼杉板

杉の板を焼き、木の木目を生かしながら絵や文字を書きます。

木のもつ暖かさや手作りのよさを体感することができます。  
やり遂げた達成感・充実感を味わうことができます。

作品を仲間と鑑賞しあうことで、仲間のよさについて新たな発見をすることができます。



時期	通年 (降雪時、荒天時不可)	所要時間	2時間～3時間	活動場所	かま場、室内
対象	小学校4年生以上	人数	150人まで		
準備物	自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの		
	<input type="checkbox"/> ブラシ <input type="checkbox"/> 火バサミ <input type="checkbox"/> 顔料入りマーカー <input type="checkbox"/> きり(千枚通し) <input type="checkbox"/> ペンチ	体育館 ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料(きのと物産で購入300円(薪代を含む)) 杉板、ヒートン、ひも <input type="checkbox"/> マッチ <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 布(焼いた杉板を磨くため)		
活動の手順	事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体担当者と所員の打ち合わせ</li> <li>活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など</li> <li>※ 板を焼く場面、きりを使う場面では、安全に行われるよう、引率者がつく。</li> </ul>			
	制作の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1 用具の準備をする。</b> ・材料、ブラシ、火バサミ、顔料入りマーカー、きり、ペンチ</li> <li><b>2 かまで火をおこす。</b></li> <li><b>3 火バサミで板を持ち、裏表を均一に焼く。</b></li> <li><b>4 ブラシで木目に沿って丁寧にこすり、すすを落とす。</b> ・燃えている部分はブラシですばやく落とす。そのままにしておくとうどんどん焦げていく。</li> <li><b>5 光沢が出るまで布でよく磨く。(木目が浮き出てくる)</b></li> <li><b>6 杉板にヒートンを取り付ける。</b> ・ヒートンを取り付けるための穴を、きり(千枚通し)で少しあける。 ・ヒートンをペンチを使って取り付ける。</li> <li><b>7 杉板に絵や文字を書く。</b></li> <li><b>8 ひもをつけて完成。</b></li> <li><b>9 後片付けをする。</b> ・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙や紙やすりは捨てる。 ・活動場所を掃除する。</li> </ol>			
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 材料は食事申込用紙に必要事項記入し、申し込んでください。</li> <li>2 板をぬらすと加工しにくくなるので、注意しましょう。</li> <li>3 刃物や火を扱いますので、ケガには十分注意しましょう。</li> <li>4 用具等はていねいに扱い、確実に返却願います。</li> <li>5 薪はすべて燃やし、灰は、灰捨て場に捨ててください。</li> </ol>				

## 28 プラスチック板加工

プラスチック板にマジックで絵を描き、オーブントースターで焼きます。仕上げの作り方によって、アクセサリーやキーホルダーになります。

プラスチックが熱で縮む性質を生かして、オリジナル作品を作ることができます。

作品を仲間と鑑賞しあうことで、仲間のよさについて新たな発見をすることができます。



<b>時期</b>	通 年	<b>所要時間</b>	1 時間30分～2 時間	<b>活動場所</b>	室内（集会室等）
<b>対象</b>	幼 児 ～	<b>人数</b>	100人まで		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出すもの</b>		<b>団体・個人で準備するもの</b>		
	<input type="checkbox"/> オーブントースター <input type="checkbox"/> 油性マジック <input type="checkbox"/> アルミホイル <input type="checkbox"/> 穴あけパンチ <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> わりばし <input type="checkbox"/> 下書き用紙 <input type="checkbox"/> 専用ガラス板	体育館 ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料（きのと物産で購入150円） プラスチック板 キーホルダー金具 <input type="checkbox"/> 下絵（用意できれば） <input type="checkbox"/> ひも、リボン等（必要であれば） <input type="checkbox"/> 軍手		
<b>活動の手順</b>	事前	・団体担当者と所員の打ち合わせ 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など ※ プラスチック板のオーブントースターへの出し入れは、安全のため引率者が行う。			
	制作の際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 用具の準備をする。</li> <li>2 プラスチック板に、油性マジックで好きな絵や字を描く。 ・1/4に縮むので、出来上がりの4倍の大きさで描く。</li> <li>3 絵や文字のないところにパンチで穴を開ける。 ・端になり過ぎないようにする。</li> <li>4 熱したプラスチック板をすぐに、はさめるように準備をしておく。 ・専用ガラス板2枚を近くに置いておく。</li> <li>5 プラスチック板を加熱する。 ・軍手をして、わりばしで温めたアルミホイルの上にはみ出さないように乗せる。 ・プラスチック板が大きく反り返りながら縮んで、動きがおさまったら、軍手をしたままわりばしで、素早くガラス板の上に置く。</li> <li>6 ガラス板ではさみ、上から押さえる。</li> <li>7 仕上げる。 ・キーホルダーの金具をつけたり、ひもを通したりして、完成！</li> <li>8 後片付けをする。</li> </ol>			
<b>備考</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 材料は食事申込用紙に必要事項記入し、申し込んでください。</li> <li>2 やけどには十分注意しましょう。</li> <li>3 用具等はていねいに扱い、確実に返却願います。</li> </ol>				

## 29 竹とんぼ

昔なつかしい竹とんぼを作ります。初級(1年生以上)、中級(3年生以上)の2コースがあります。チャレンジしましょう。

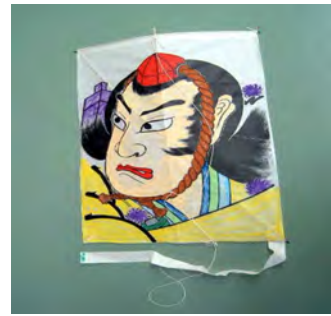
＜竹とんぼを遠く飛ばすには？＞

1. 左右の羽根のバランスをしっかりとりましょう。
2. 左右の羽根に、角度(迎え角)をつけましょう。
3. 左右の羽根と軸を正確に、取り付けましょう。



時期	通年	所要時間	2時間～3時間	活動場所	室内(体育館等)
対象	初級：小学校1年生以上 中級：小学校3年生以上			人数	200人まで
準備物	自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの		
	<input type="checkbox"/> 紙ヤスリ <input type="checkbox"/> グルーガン <input type="checkbox"/> 木工用ボンド <input type="checkbox"/> ナイフ (中級)	} 体育館 } ギャラリー	<input type="checkbox"/> 竹とんぼキット(きのと物産で購入150円) 初級：長方形の竹と竹ひご 中級：長方形の竹(削り線入り)と竹ひご <input type="checkbox"/> 空き缶 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> マッチ、ろうそく		
活動の手順	事前準備	・団体担当者と所員の打ち合わせを行う。 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など ※竹を焼く場面、ナイフを使う場面(中級)では、安全に行われるように引率者がつく。			
	制作の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>用具の準備をする。</b> ・竹とんぼキット、紙ヤスリ、グルーガン、木工用ボンド、ナイフ、空き缶</li> <li>2 <b>竹とんぼの羽根の先を紙ヤスリで丸くする。</b> ・危険防止のために行う。 (中級の場合、ナイフで削る作業を2に入る前に行う。)</li> <li>3 <b>羽根の中心部分を火で暖めて曲げる。</b> ・焦がさないために中心部分をぬらす。 ・曲げるタイミングは、ぬれたのがかわくころが目安になる。 ・ひねって、左右同じになるようにする。竹が冷えるまで、固定しておく。</li> <li>4 <b>空き缶の上に載せ、重さのバランスをとる。</b></li> <li>5 <b>羽根と軸をボンド等で接着する。</b></li> <li>6 <b>後片付けをする。</b> ・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙や紙やすりは捨てる。 ・活動場所を掃除する。</li> </ol>			
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 具体的な制作については、竹とんぼキットに書かれているのでご覧ください。</li> <li>2 材料は食事申込用紙に必要事項を記入し、申し込んでください。</li> <li>3 刃物や火を使いますので、ケガには十分注意しましょう。</li> <li>4 用具はていねいに扱い、確実に返却願います。</li> </ol> ※この資料は、『竹工作やろう会 片田 邦雄氏』の資料を引用しています。				

# 30 和凧



よくあがる和凧です。凧の町白根から材料を取り寄せています  
作った後はグラウンドなどで遊ぶといいでしょう。

材料がセットになっていて、作り方説明書もついています。  
和紙には下絵もついています。  
自然の家にある用具だけで創作できます。

<b>時期</b>	通 年	<b>所要時間</b>	1時間～2時間	<b>活動場所</b>	室内 (体育館、集会室等)
<b>対象</b>	小学生4年生以上	<b>人数</b>	200人まで		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出すもの</b>		<b>団体・個人で準備するもの</b>		
	<input type="checkbox"/> 顔料入りマーカー <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> のり <input type="checkbox"/> ボンド	} 体育館 } ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料(きのと物産で購入400円) 和紙、竹ヒゴ、糸		
<b>活動の手順</b>	事前準備	・団体担当者と所員の打ち合わせ 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など			
	制作の実際	<p><b>1 用具を準備をする。</b>          ・和凧セット、顔料入りマーカー、はさみ、のり、ボンド</p> <p><b>2 作り方説明書を見ながら創作する。</b>          (1) 和紙を折り込み、ヒゴを貼る印を作る。          (2) 上(横)に、短いヒゴをボンドで貼る。          (3) 真ん中(縦)に、中くらいのヒゴをボンドで貼る。          (4) 対角線(斜め)に、長いヒゴ2本をボンドで貼る。          (5) 上の横ヒゴの上から出ている和紙の部分を下に折って貼る。          縦ヒゴの部分は切り込みを入れる。          (6) 和紙の下角にしっぽを貼る。          (7) 横ヒゴと縦ヒゴの交わった部分と、一番下の縦ヒゴと横折り込み線の交わった部分に穴を開け、糸目糸を通し結ぶ。          (8) 糸目糸を上(横)の折り込みより少し下に糸を寄り合わせ結ぶ。          (9) 上の両側のヒゴの交わったところに張り糸を3回巻いて結ぶ。</p> <p><b>3 グラウンドなどで凧をあげてみる。</b>          (1) 張り糸を4～5回ヒゴに巻き弓なりにする。          (2) 風の向きを考えて、凧をあげる。(慣れるまでは2人組であげる。)          (3) あげ糸を引いたり、伸ばしたりしながら少しずつ高くあげていく。          (4) あげ終わったら、張り糸はほどく。</p>			
<b>備考</b>	材料は食事申込用紙に必要事項記入し、申し込んでください。				

# 31 ドングリのバッジ

**輪切り木材にドングリを貼り付け、絵や文字をかくて、バッジを作ります**

木の特性や、ドングリなどの自然素材の特性に気付かせ、自然素材のもつよさを体感させることができます。

完成したときには、やり遂げた達成感・充実感を味わわせることができます。作品を仲間と鑑賞しあい、仲間のよさについて新たな発見をさせることができます。



<b>時期</b>	通 年	<b>所要時間</b>	30分～1時間30分	<b>活動場所</b>	室内（体育館、集会室等）
<b>対象</b>	小学生以上	<b>人数</b>	200人まで		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出すもの</b>		<b>団体・個人で準備するもの</b>		
	<input type="checkbox"/> 顔料入りマーカー <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> グルーガン <input type="checkbox"/> 木工用ボンド <input type="checkbox"/> 紙やすり <input type="checkbox"/> 布ガムテープ	} 体育館 ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料（きのと物産で購入150円） <輪切り木材、安全ピン、割ったドングリ>		
<b>活動の手順</b>	事前準備	・団体担当者と所員の打ち合わせ 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など			
	制作の実際	<p><b>1 用具を準備する。</b></p> ・材料、顔料入りマーカー、新聞紙、グルーガン、木工用ボンド、紙やすり			
	<p><b>2 新聞紙を一人ひとりが用意する。</b>（新聞紙の上で制作作業を行う）</p>				
	<p><b>3 輪切り木材を紙やすりでみがく。</b>（表面が、滑らかになるまで10分程度）</p>				
	<p><b>4 輪切り木材にドングリを貼り付け、絵や文字をかく。</b></p> <p>(1) ドングリ配置を考えたり、絵や文字のを書く。                  (2) グルーガンでドングリを輪切り板に仮止めする。                  (3) 木工用ボンドでドングリを輪切り板に貼り付ける。</p>				
	<p><b>5 輪切り木材に安全ピンをつける。</b></p> ・安全ピンを布ガムテープで固定する。				
	<p><b>8 後片付けをする。</b></p> ・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙や紙やすりは捨てる。 ・活動場所を掃除する。				
<b>備考</b>	材料は食事申込用紙に必要事項を記入し、申し込んでください。				

## 32 ドングリのペンダント

**ドングリに絵を描き、ペンダントを作ります。**

ドングリなどの自然素材の特性に気付かせ、自然素材のもつよさを体感させることができます。

完成したときには、やり遂げた達成感・充実感を味わわせることができます。作品を仲間と鑑賞しあい、仲間のよさについて新たな発見をさせることができます。



<b>時期</b>	通 年	<b>所要時間</b>	30分～1時間30分	<b>活動場所</b>	室内（体育館、集会室等）
<b>対象</b>	小学生以上	<b>人数</b>	200人まで		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出すもの</b>		<b>団体・個人で準備するもの</b>		
	<input type="checkbox"/> 顔料入りマーカー <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> きり（千枚通し） <input type="checkbox"/> ペンチ  <input type="checkbox"/> スプレーニス…事務室	} 体育館 } ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料（きのと物産で購入150円） <ドングリ、ヒートン、ひも、ビーズ>		
<b>活動の手順</b>	事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体担当者と所員の打ち合わせ 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など</li> <li>※ きりを使う場面は、安全に行われるよう、引率者がつく。</li> </ul>			
	制作の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1 用具を準備する。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料、顔料入りマーカー、新聞紙、きり、ペンチ、スプレーニス（マニキュア）</li> </ul> </li> <li><b>2 新聞紙を一人ひとりが用意する。</b>（新聞紙の上で制作作業を行う）</li> <li><b>3 ドングリにヒートンを取り付ける。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒートンを取り付けるための穴を、きり（千枚通し）で少しあける。</li> <li>・ヒートンをペンチを使って取り付ける。</li> </ul> </li> <li><b>4 ドングリに絵や文字をかく。</b></li> <li><b>5 ニス（マニキュア）をかける。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニスを多くかけると、顔料入りマーカーで書いた絵や文字が溶け出し、にじんでしまう。</li> </ul> </li> <li><b>6 ニス（マニキュア）が乾燥したらヒートンにひもを通し、ビーズをつけて、ひもを結ぶ。</b>（10分間程度でニス乾燥する。）</li> <li><b>7 後片付けをする。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙は捨てる。</li> <li>・活動場所を掃除する。</li> </ul> </li> </ol>			
<b>備考</b>	材料は食事申込用紙に必要事項を記入し、申し込んでください。				



### 33 ドングリのストラップ

**ドングリに絵を描き、ストラップを作ります。**

ドングリなどの自然素材の特性に気付かせ、自然素材のもつよさを体感させることができます。

完成したときには、やり遂げた達成感・充実感を味わわせることができます。作品を仲間と鑑賞しあい、仲間のよさについて新たな発見をさせることができます。



<b>時期</b>	通 年	<b>所要時間</b>	30分～1時間30分	<b>活動場所</b>	室内（体育館、集会室等）
<b>対象</b>	小学生以上	<b>人数</b>	200人まで		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出すもの</b>		<b>団体・個人で準備するもの</b>		
	<input type="checkbox"/> 顔料入りマーカー <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> きり（千枚通し） <input type="checkbox"/> ペンチ  <input type="checkbox"/> スプレーニス…事務室	} 体育館 } ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料（きのと物産で購入200円） <ドングリ、ヒートン、ストラップ、ビーズ>		
<b>活動の手順</b>	事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体担当者と所員の打ち合わせ 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など</li> <li>※ きりを使う場面は、安全に行われるよう、引率者がつく。</li> </ul>			
	制作の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1 用具を準備する。</b> ・材料、顔料入りマーカー、新聞紙、きり、ペンチ、スプレーニス（マニキュア）</li> <li><b>2 新聞紙を一人ひとりが用意する。</b>（新聞紙の上で制作作業を行う）</li> <li><b>3 ドングリにヒートンを取り付ける。</b> ・ヒートンを取り付けるための穴を、きり（千枚通し）で少しあける。 ・ヒートンをペンチを使って取り付ける。</li> <li><b>4 ドングリに絵や文字をかく。</b></li> <li><b>5 ニス（マニキュア）をかける。</b> ・ニスを多くかけると、顔料入りマーカー、で書いた絵や文字が溶け出し、にじんでしまう。</li> <li><b>6 ニス（マニキュア）が乾燥したらヒートンにストラップ通し、ビーズをつける。</b> （10分間程度でニス乾燥する。）</li> <li><b>7 後片付けをする。</b> ・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙は捨てる。 ・活動場所を掃除する。</li> </ol>			
<b>備考</b>	材料は食事申込用紙に必要事項記入し、申し込んでください。				

# 34 松ぼっツリー

松ぼっくりにモールやビーズを付けて、オリジナルのクリスマスツリーを作ります。

松ぼっくりなどの自然素材の特性に気付かせ、自然素材のもつよさを体感させることができます。

松ぼっくりに着色したり、モールやビーズをちりばめることで、子ども独自のアイディアを活かしたクリスマスツリーをつくることができます。

完成したときには、やり遂げた達成感・充実感を味わわせることができます。作品を仲間と鑑賞しあい、仲間のよさについて新たな発見をさせることができます。



<b>時期</b>	10月～3月に 限定実施	<b>所要時間</b>	1時間～1時間30分	<b>活動場所</b>	室内（体育館、集会室等）
<b>対象</b>	小学生以上	<b>人数</b>	100人まで		
<b>準備物</b>	<b>自然の家で貸し出すもの</b>		<b>団体・個人で準備するもの</b>		
	<input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> グルーガン <input type="checkbox"/> 木工用ボンド <input type="checkbox"/> 顔料入りマーカー <input type="checkbox"/> ピンセット	} 体育館 } ギャラリー	<input type="checkbox"/> 材料（きのと物産で購入200円） <輪切り木材、松ぼっくり、モール、ビーズ>  ※松ぼっくりに着色をすることも可能。 事前に自然の家に相談する。		
<b>活動の手順</b>	事前準備	・団体担当者と所員の打ち合わせ 活動場所、用具の貸し出しや後片付けの方法、作り方、安全上の注意など			
	制作の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>用具を準備する。</b> ・材料、グルーガン、木工用ボンド、マーカー、ピンセット、新聞紙 等</li> <li><b>新聞紙を一人ひとりが用意する。</b>（新聞紙の上で制作作業を行う）</li> <li><b>松ぼっくりの底にボンドをつける。</b></li> <li><b>松ぼっくりがバランスよく立つか確認する。</b></li> <li><b>松ぼっくりにビーズやモールなどをボンドではりつける。はりつける時にはピンセットを使用する。</b></li> <li><b>後片付けをする。</b> ・用具を元の場所に戻し、使った新聞紙は捨てる。 ・活動場所を掃除する。</li> </ol>			
<b>備考</b>	材料は食事申込用紙に必要事項を記入し、申し込んでください。				